

令和7年産

仙南稲作情報（第6号）

令和7年8月14日発行

宮城県大河原農業改良普及センター

TEL : 0224-53-3496 FAX : 0224-53-3138

※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

○仙南管内全体の出穂期は7月28日

（平年より2日早い）。

○高温の影響により、登熟は平年よりも早くなる見込み。

○積算気温や籾の熟色から、適期の刈取を行いましょう。

1 気象経過（丸森アメダス、5月1日～8月11日）

- ・生育期間中（5/1～8/11）の平均気温は、平年と比較してかなり高く推移している（平年+2.5℃）。また、同期間中の平均気温は、記録的高温年であった令和5年度よりもやや高く推移した（+0.4℃）。
- ・降水量は平年の8割程度、日照時間は平年比125%で推移している。

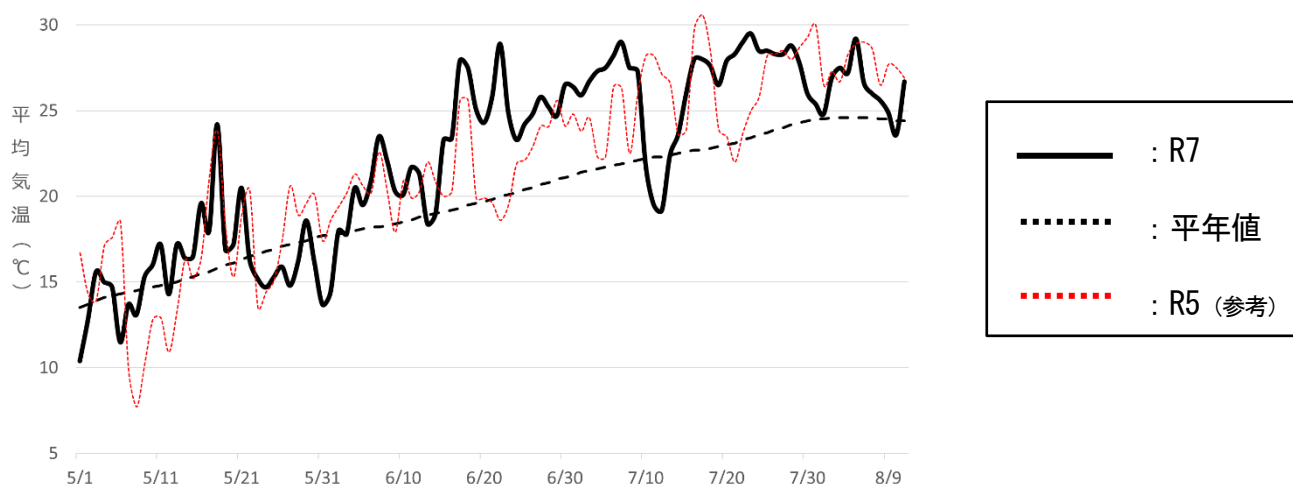


図1 気象経過（丸森アメダス、5月1日～8月11日）

※仙台管区气象台（8/7 発表）の「向こう1か月の天候の見通し」では、東北地方太平洋側の日照時間は「多い」、降水量は「少ない」、気温は「高い」見込みで、期間の全体（8/9～9/5）を通じて高くなる見込みです。

（参考）

気象庁「高温に関する早期天候情報（東北地方）」



2 管内の出穂状況

【8月1日調査結果】

（管内出穂状況調査の結果）

- ・仙南管内全体では、出穂期が平年より2日早い7月28日となっている。

□ 管内の出穂状況（8月1日時点）

市町村名	水稻作付 見込面積 (ha) 注1	出穂に達した 面 積 (ha) 注2	進行率 (%)	進行月日(月/日) 注3)	(参考) 平年値 注4)
				出穂期	出穂期
白石市	888	800	90.1%	7月29日	8月1日
蔵王町	508	475	93.5%	7月27日	7月30日
七ヶ宿町	90	45	50.0%	8月1日	8月6日
大河原町	257	247	96.1%	7月26日	7月29日
柴田町	480	440	91.7%	7月24日	7月29日
村田町	465	443	95.3%	7月27日	7月29日
川崎町	552	435	78.8%	7月28日	8月3日
角田市	2,073	1,900	91.7%	7月26日	7月29日
丸森町	747	395	52.9%	8月1日	7月31日
管内合計	6,060	5,180	85.5%	7月28日	7月30日

注1) 作付見込面積は令和6年産の水田における作付状況(令和6年9月15日時点)の主食用米面積を用いた。

注1,2) 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

注3) 出穂期は、進行率が50%に達した時期をいう。

注4) 平年値は平成27～令和6年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値。

3 今後の管理

(1) 水管理

- ・登熟期間中の気温は平年よりも高く推移しており、今後も高くなると見込まれることから、「白未熟粒」の発生による品質低下を避けるため、土壌を湿潤状態に保つ飽水管理を行いましょう。
- ・収穫作業前の落水の適期は出穂後30日目頃が目安になりますが、後述の刈取適期やほ場の保水力（乾きやすさ）、天候による乾湿の状態などを考慮して決定しましょう。

※飽水管理の方法

- ①水尻を閉め、畦畔からの漏水が無いか確認する。
- ②田面が浸るくらい（ひたひた）に水を入れる。
- ③水を止めたら水尻を閉めたまま、自然減水させる。
- ④水田の足跡に水が無くなる頃、または番水のタイミングで次の水を入れる（目安は3～5日おき）。

◎飽水管理は、地温の上昇を抑制し、白未熟粒の発生を抑制できます。

（２）刈取適期の予測

一般的には、籾の80～90％程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から1/3程度黄変したときが成熟期になります。下記の予測法を組み合わせると刈取適期を判断しましょう。また、収穫用機械や乾燥調製施設等の点検・整備は早めに行いましょう。

①出穂後の積算平均気温による予測

- ・出穂期後の毎日の平均気温を積算して判定します。概ね1,000℃の頃が収穫適期の目安となりますが、品種により異なります（表1、2）。
- ・出穂後に高温が継続する年は刈取適期が早まります。
- ・今年は、出穂後の気温が平年よりも高く推移し、今後も高いと予想されることから、刈取適期に達する日数が短縮する可能性が非常に高いです。刈遅れに注意しましょう。

表1 品種別の出穂後積算気温による刈取適期の目安

品種名	出穂後の積算気温	備考
ひとめぼれ	940～1,100℃	
つや姫	1,000～1,200℃	出穂後1,200℃を超えると茶米の発生が多くなるため、収穫時期に留意する。
だて正夢	1,020～1,060℃	
まなむすめ	960～1,050℃	
ササニシキ	930～1,170℃	

表2 出穂後の積算平均気温と出穂期毎の積算平均気温到達日の予測

地帯	積算平均気温（℃）	出穂期						備考
		7月15日	7月20日	7月25日	7月30日	8月4日	8月9日	
南	940	8月19日	8月25日	8月30日	9月5日	9月10日	9月16日	令和7年度の南部平坦の出穂期は7/26
部	1,000	8月22日	8月27日	9月2日	9月7日	9月13日	9月18日	
平	1,100	8月26日	8月31日	9月5日	9月11日	9月17日	9月23日	
坦	1,200	8月29日	9月4日	9月10日	9月16日	9月22日	9月28日	

注）8月11日までは丸森アメダスの令和7年のデータを使用。8月12日から9月5日は気象庁の1か月気温確率予測資料（地点：仙台、期間：8月9日～9月5日）から入手した平均気温予測値を基に、同期間中の丸森アメダスと仙台アメダスの平均気温平年値の差で補正したデータを使用。9月6日以降は、丸森アメダスの過去5年間の平均気温データを使用して算出した。

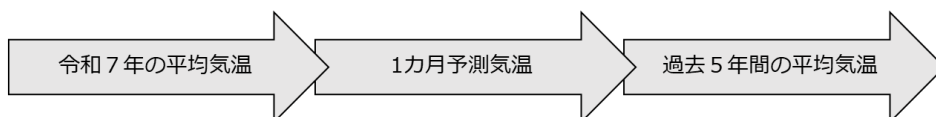


図2 積算平均気温の算出方法（イメージ）

②籾水分による判定

- ・25％（刈取早限）～21％（刈取晚限）が目安です。
- ・コンバイン収穫では籾水分が高いと損傷が多くなり、胴割粒が増加するため、籾水分25％以下を目標にしましょう。